



JAPAN AIRLINES



大和インベスター・リレーションズ個人投資家様 説明会

日本航空株式会社

代表取締役副社長執行役員

藤田 直志

アジェンダ

1. 会社概要と企業理念

2. 観光立国 ～外国人観光客の誘客～

3. 日本航空の戦略と取り組み

4. 株主の皆様へ

社名

日本航空
株式会社

上場日

2012年
9月19日

代表取締役
社長執行役員

赤坂 祐二

証券コード

9201

代表取締役会長

植木 義晴

発行済株式総数

349,028,700株

代表取締役
副社長執行役員

藤田 直志

単元株式数

100株

資本金

1,813億円

株価

3,308円*2

連結従業員数

34,003人*1

時価総額

1兆1,541億円
*2

※1： 2019年3月31日時点

※2： 2019年8月13日時点

JALグループは、全社員の物心両面の幸福を追求し、

一、お客さまに最高のサービスを提供します。

一、企業価値を高め、社会の進歩発展に貢献します。



1. 会社概要と企業理念

2. 観光立国 ～外国人観光客の誘客～

3. 日本航空の戦略と取り組み

4. 株主の皆様へ

GDP600兆円に向けた成長戦略の柱のひとつ

観光立国の実現 !新たな目標への挑戦!

訪日外国人旅行者数

2020年 : 4,000万人
(2015年の約2倍)

2030年 : 6,000万人
(2015年の約3倍)

訪日外国人旅行消費額

2020年 : 8兆円
(2015年の約2倍超)

2030年 : 15兆円
(2015年の約4倍超)

地方部での外国人延べ宿泊数

2020年 : 7,000万人泊
(2015年の約3倍弱)

2030年 : 1億3,000万人泊
(2015年の約5倍超)

外国人リピーター数

2020年 : 2,400万人
(2015年の約2倍)

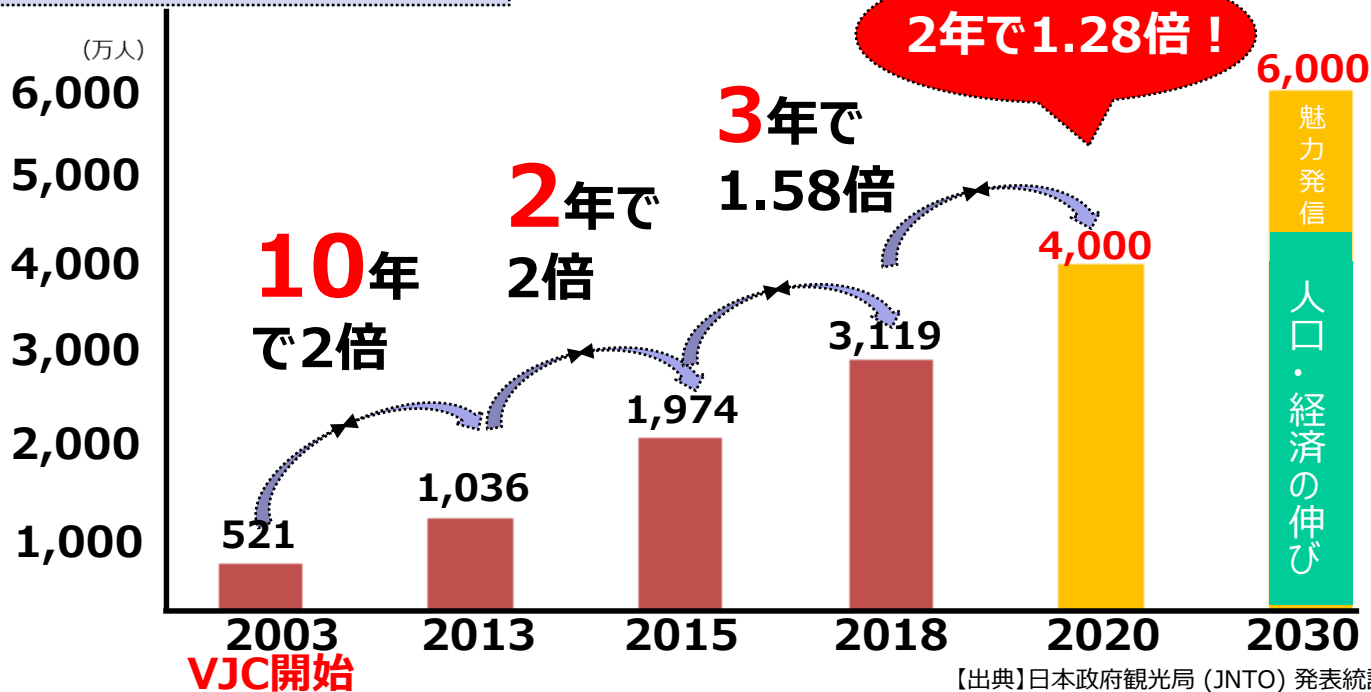
2030年 : 3,600万人
(2015年の約3倍)

日本人国内旅行消費額

2020年 : 21兆円

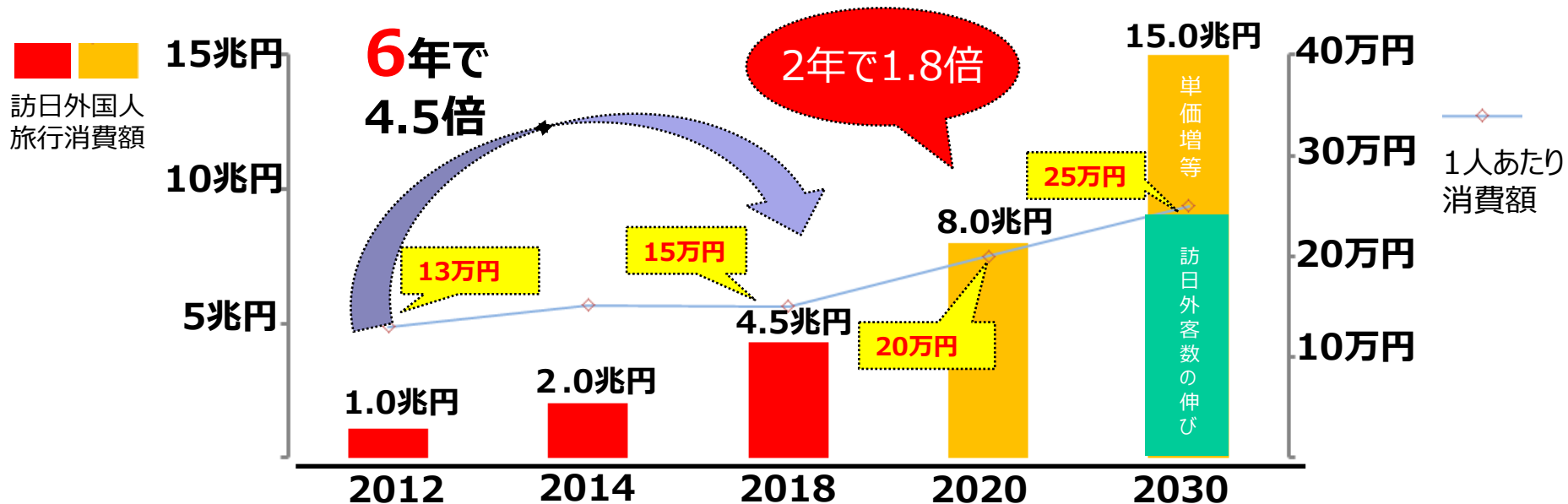
2030年 : 22兆円

訪日外国人推移



2020年 4,000万人 2030年 6,000万人

訪日外国人旅行消費額の推移



【出典】観光庁 訪日外国人消費動向調査

2020年 8兆円 2030年 15兆円

2018年は、過去最高の3,119万人！

**2019年は、3,550万人へ！
(最高記録更新)**



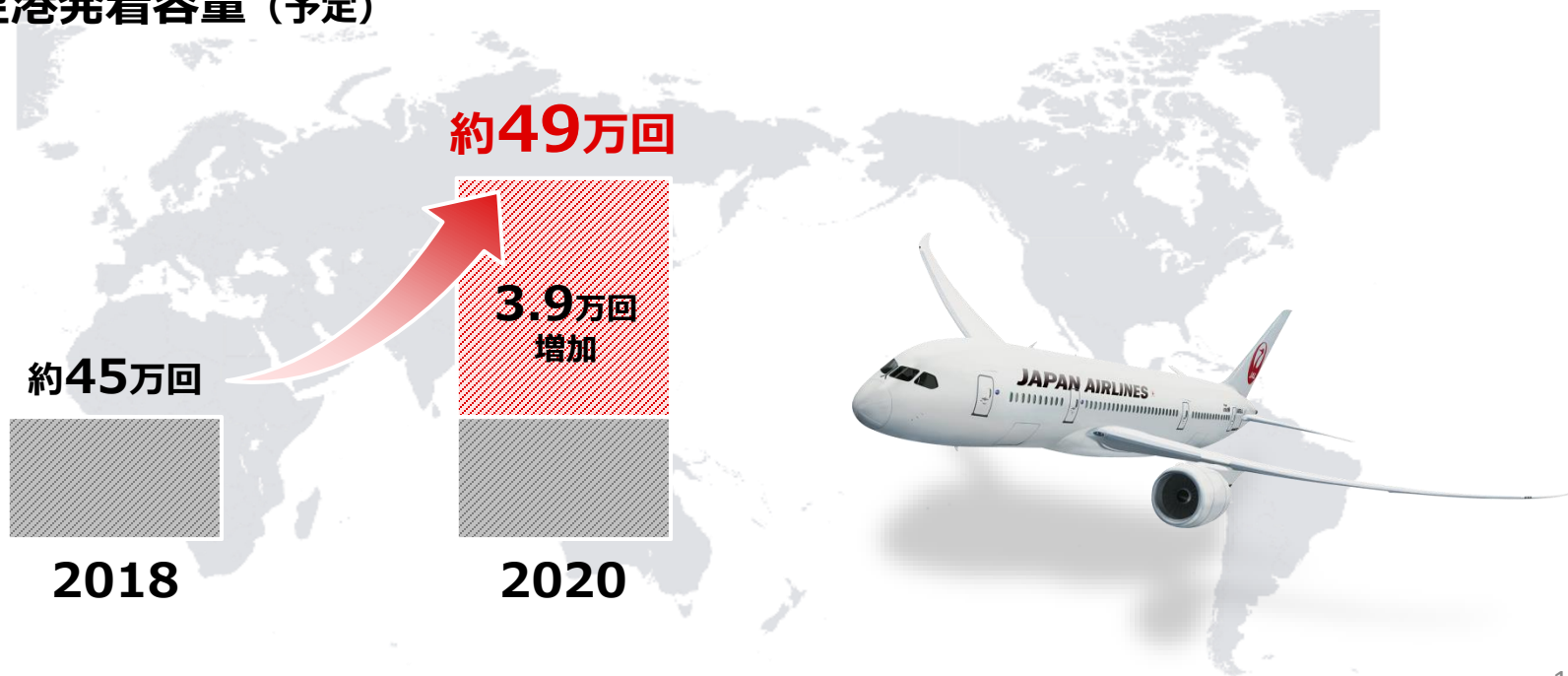
JAPAN AIRLINES



観光立国 外国人観光客の誘客促進のために、
2020年 首都圏空港の発着枠が拡大！
-国際線-

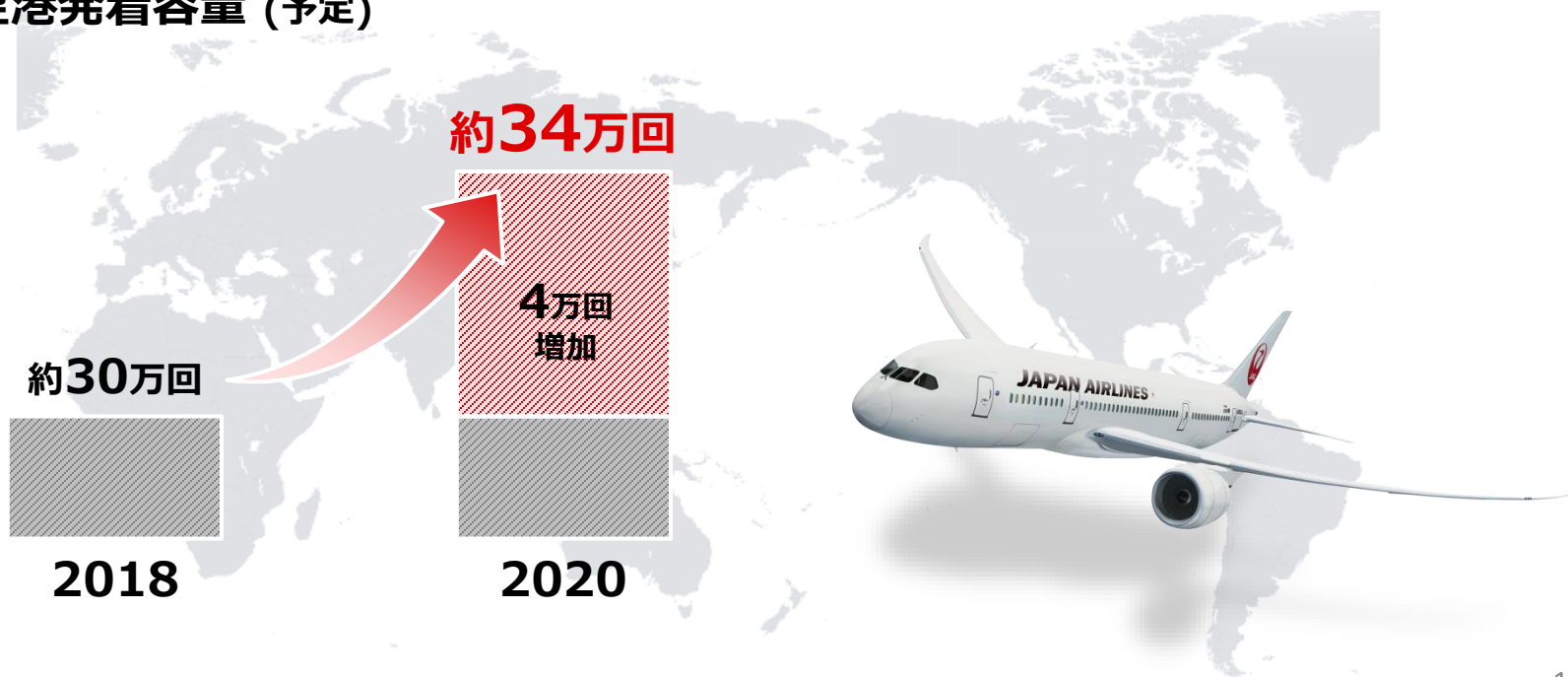
2020年 首都圏空港機能強化を機に、羽田のネットワークを拡充

羽田空港発着容量（予定）



2020年 首都圏空港機能強化を機に、成田もネットワークを拡充

成田空港発着容量（予定）



1. 会社概要と企業理念
2. 観光立国 ～外国人観光客の誘致～
3. 日本航空の戦略と取り組み
4. 株主の皆様へ



JAPAN AIRLINES



国際線のネットワーク戦略について

NEW!



新規路線!
シアトル線、ベンガルール線、ウラジオストク線

グローバルなネットワークの拡充





中長距離ローコストキャリア、「ZIPAIR Tokyo」

ZIPAIR



成田発着

中長距離
国際線

ローコスト
キャリア



787-8型機

当初2機 ⇒ 5年後、10機 (予定)



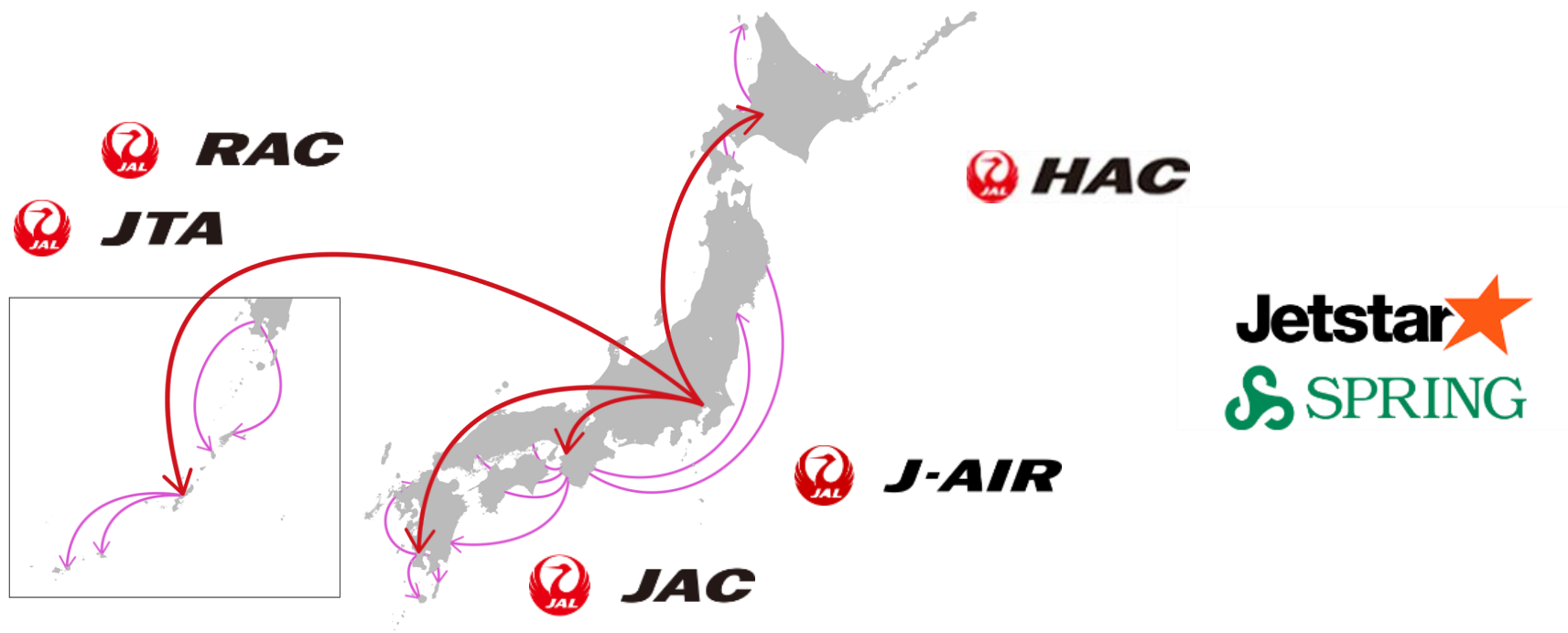


JAPAN AIRLINES



国内線のネットワーク戦略について

世界と地域をつなぐ路線ネットワーク



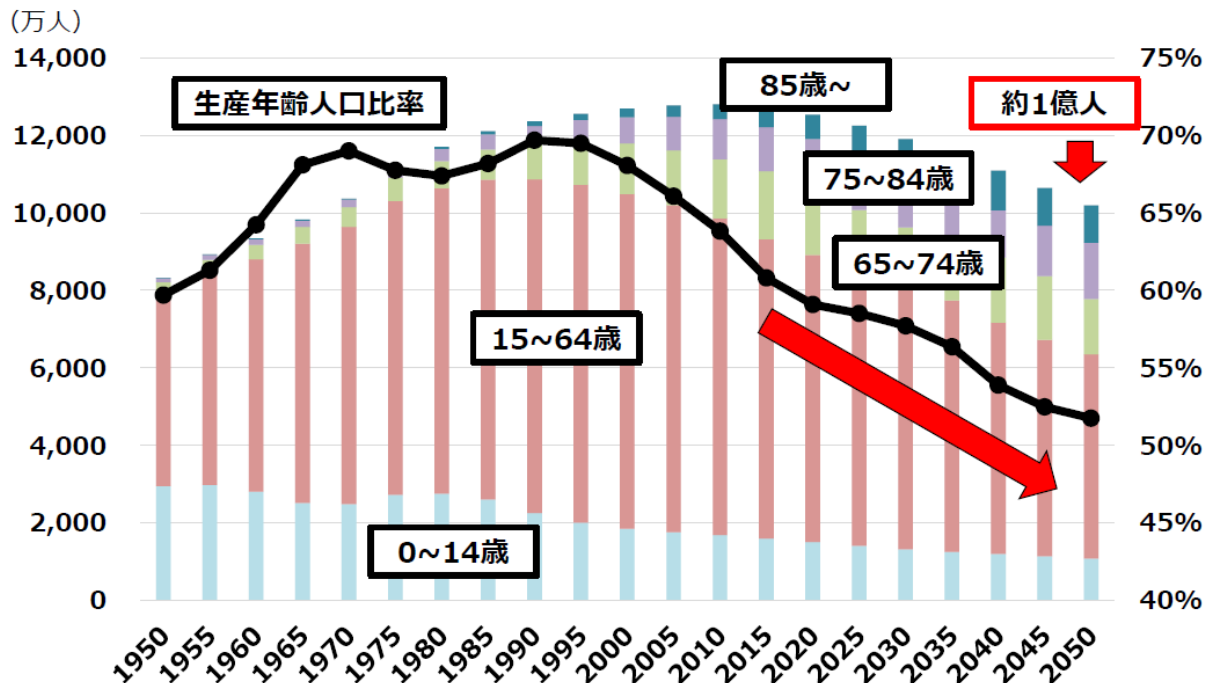


客室を一新



将来人口の予測

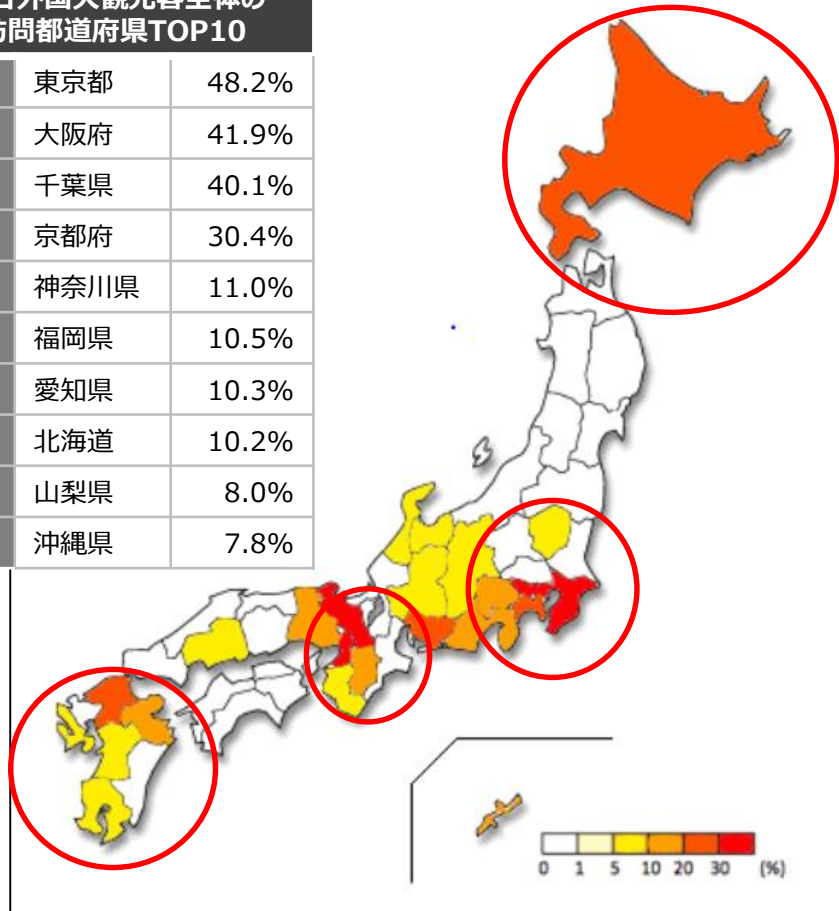
- 2050年に日本の人口は約1億人まで減少する見込み。
- 今後、生産年齢人口比率の減少が加速。



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」、総務省「人口推計(平成28年)」より経済産業省作成

訪日外国人観光客全体の
訪問都道府県TOP10

1位	東京都	48.2%
2位	大阪府	41.9%
3位	千葉県	40.1%
4位	京都府	30.4%
5位	神奈川県	11.0%
6位	福岡県	10.5%
7位	愛知県	10.3%
8位	北海道	10.2%
9位	山梨県	8.0%
10位	沖縄県	7.8%



【外国人観光客の訪問地】

首都圏
大阪京都
福岡
北海道

が圧倒的に多い

出所：訪日ラボ

- 1] 日本に興味を持っていただくこと
- 2] 日本へのお客様の輸送
- 3] 到着後の日本国内の移動
- 4] 帰国後、再び日本に来ていただくためのフォローアップ

1] 日本に興味を持っていただく

- 日本のコンテンツの発信
- 各国の旅行博への出展
- 地域とタイアップしたプロモーション
- 海外地区セールス、マーケティングの強化

3] 到着後の日本国内の移動

- 外国人専用国内運賃の提供
- コンテンツによる日本ガイド
- Wi-Fiサービス等

2] 日本へのお客様の輸送

- 路線、ネットワークの展開
- 日本行運賃の提供
- 機内サービス
- 海外地区セールス、マーケティング力の強化
- 海外からの航空会社の受け入れ態勢の充実

4] 帰国後のフォローアップ (リピーターの拡大)

- 日本に関するコンテンツ・情報の提供
- JALマイレージバンク会員へのアプローチ



JAPAN AIRLINES



具体的な取り組み事例の一部をご紹介します

1. 運賃
2. 地域の活性化

～Guide to Japan～

訪日外国人向け情報案内サイト



NATURE



FOOD



CULTURE



SUB-CULTURE

・2005年サイトオープン

・多言語対応（英・中国簡体字・台湾繁体字・香港繁体字・フランス語・ドイツ語・ロシア語）

・世界26地域・9言語で展開

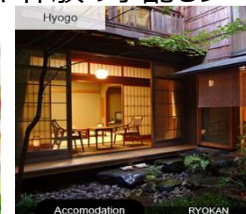
～Explore Japan～

各地域誘客に向けたプロモーションサイト

各地の魅力を発信するだけでなく、宿泊や体験の手配もシームレスに



Japan Explorer Pass



RYOKAN



BUS

・2016年サイトオープン

・多言語対応(Guide to Japan同様)

・世界26地域で展開

・Japan Explorer Passおよび付帯する旅の素材の紹介販売、プロモーションを中心に展開。「ホテル」「アクティビティ」「地上交通」「レストラン」の予約・手配が可能。

日本航空の取り組み【地域の活性化】 JAL 新・JAPAN PROJECT



「観光振興」と「農林水産物」のブランド化に磨きをかけ、地域と一緒に地域を元気に。

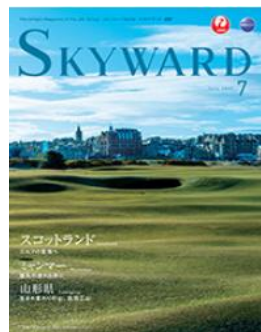
JALは、訪日外国人需要や国内の観光需要を各地へ呼び込む取り組み「JAL 新・JAPAN PROJECT」を2015年9月より始めています。人やモノの流れが地域の経済を活性化し、さらには、雇用の創出にも繋がり地域が活気づくような良い循環づくりをお手伝いしています。

**機内誌、Webで
地域の魅力紹介**

**機内食・ラウンジで
食・銘菓の魅力紹介**

**地元企業とコラボ
したキャンペーン**

**地域のブランド化
商品販売の手伝い**



機内誌
月間約
360万人

年間約30万名の
国内ファーストクラス
ご利用のお客様にPR



機内食(イメージ)

3,200万人のマイ
レージ会員サイトで
地元の“とっておきの
逸品”を販売



共同企画・開発した商
品の機内での提供ならび
に販売「あおり藍」との協業



機内誌「SKYWARD」やHP「旅コラム」で案内

機内アナウンスで世界遺産登録を応援

宗像国際環境100人会議参画

育成プログラム参加学生へ機会の提供

空港スタッフによる「おもてなし講座」実施

お互いの人事交流開始

◇宗像市職員→JALに出向

◇JAL→宗像市に出向

■ 2018年3月～ JAL航空機へのデカール実施（2～3機程度）

航空機への入り口ドア付近に、
世界遺産『「神宿る島」宗像・沖ノ島と
関連遺産群』のデカールを貼り、
ご搭乗のお客さまへPR実施予定。



大義・・・その地域に住む皆さまが、その地域を豊かにしていくことが基本。地域を豊かにすることで商売を拓げていく。

自利と利他



事業は「自利・利他」という関係でなければいけません。

「自利」とは自分の利益、「利他」とは他人の利益です。つまり「自利と利他」とは、自分が利益を得たいと思ってとる行動や行為は、同時に他人、相手側の利益にもつながっていないなければならないということです。自分が儲かれば相手も儲かる、それが真の商いなのです。

常に相手にも利益が得られるように考えること、利他の心、思いやりの心を持って事業を行うことが必要です。

【出典】稲盛 和夫 official site

最後に

1. 会社概要と企業理念
2. 観光立国 ～外国人観光客の誘致～
3. 日本航空の戦略と取り組み
4. 株主の皆様へ

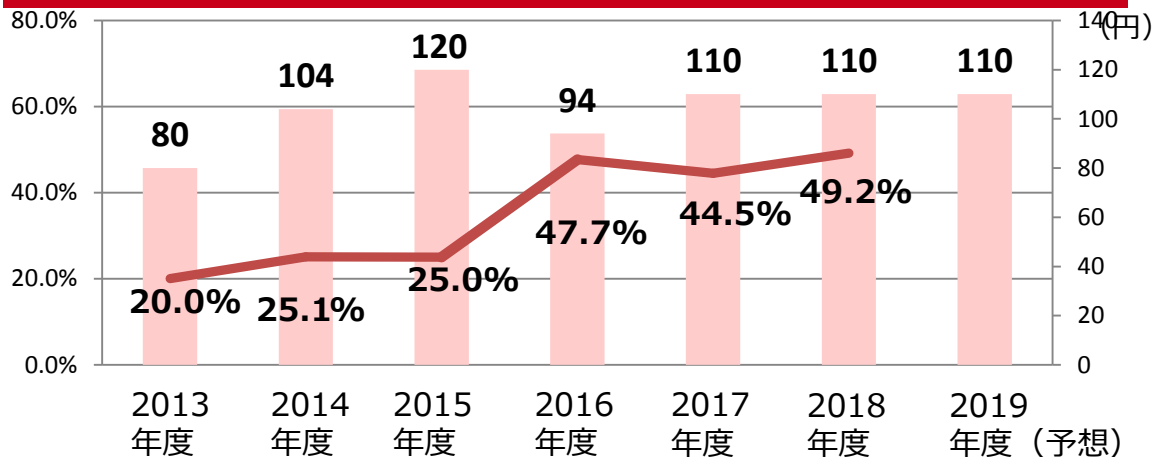
配当性向

概ね35%程度を目安とする

総還元を重視

配当金と自己株式取得の実施額を組み合わせ、これらの合計による株主還元の実施（総還元性向を概ね35%～50%程度の範囲とする）

1株当たり配当金額・総還元性向 推移



自己株式取得は実施を常に検討

- 毎年3月31日、並びに9月30日現在の株主様に対し、当社グループの国内線の株主割引券を発行
- 3年（7基準日）連続で同一株主番号でご所有の株主様へ、追加で株主割引券を発行
- 海外・国内JALグループツアー割引券（7%割引）を配布
- 発行基準



ご所有株式数		3月31日 現在の株主様	9月30日 現在の株主様
100株	～	199株	1枚
200株	～	299株	1枚
300株	～	399株	2枚
400株	～	499株	2枚
500株	～	599株	3枚
600株	～	699株	3枚
700株	～	799株	4枚
800株	～	899株	4枚
900株	～	999株	5枚
1,000株	～	1,099株	5枚
1,100株	～	99,999株	※1
100,000株	～		※2

長期保有のメリット

長期保有の条件とは？

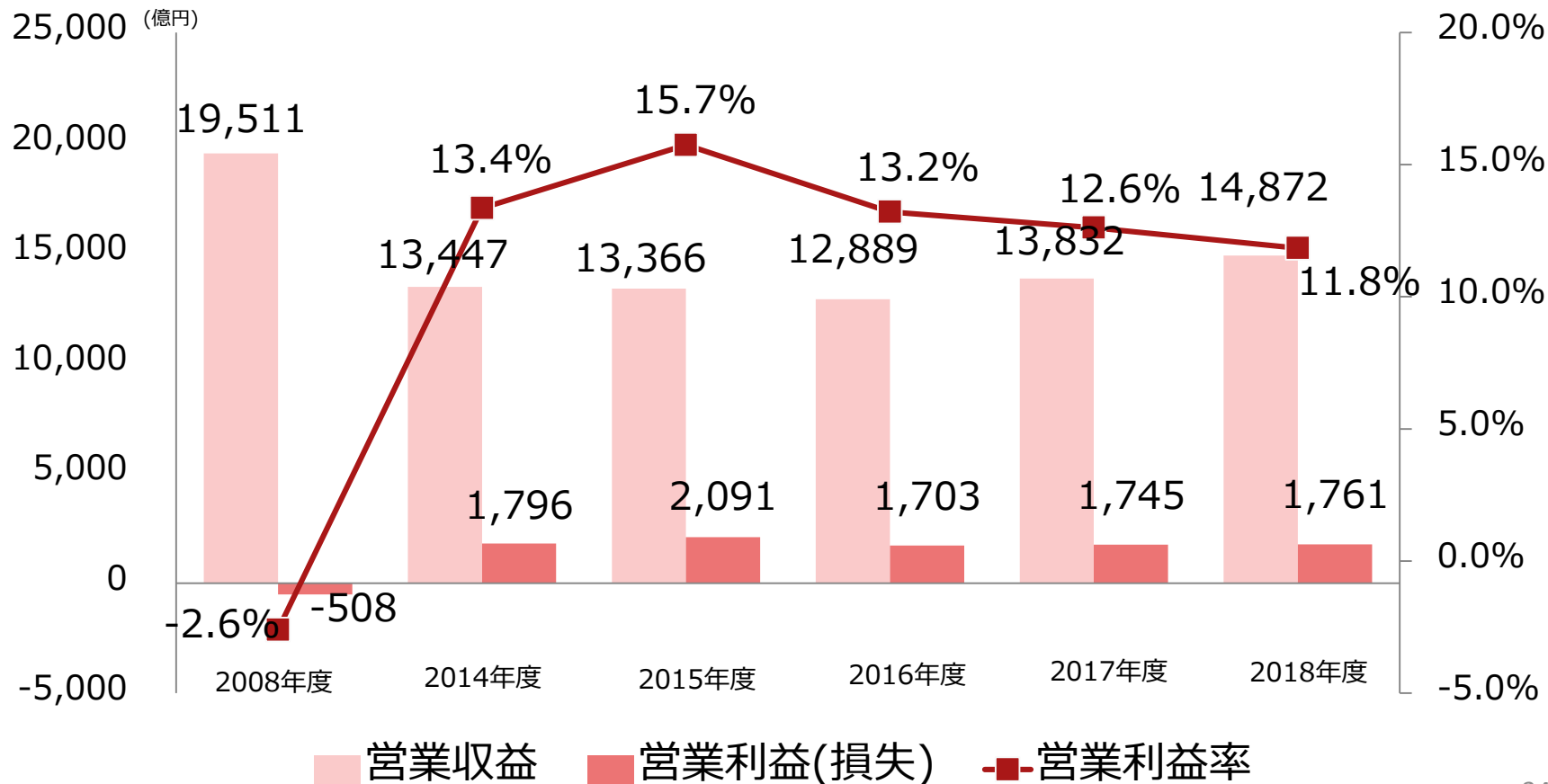
- ✓ 3年（7基準日）連続
- ✓ 同一株主番号

左記の発行基準に加え、弊社株を長期で所有いただいた株主様には、以下の基準により、追加で株主割引券を発行いたします。

- ◎ 300株～999株 ⇒ 各7基準日目に 1枚
- ◎ 1,000株～9,999株 ⇒ 各7基準日目に 2枚
- ◎ 10,000株～ ⇒ 各7基準日目に 3枚

- ※1 5枚+1,000株超過分 500株ごとに1枚
- ※2 203枚+100,000株超過分 1,000株ごとに1枚

営業収益・営業利益の推移



本資料には、日本航空株式会社（以下「当社」といいます）及びそのグループ会社（以下当社と併せて「当社グループ」といいます）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点（又はそこに別途明記された時点）において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点（又はそこに別途明記された時点）のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。